

勤労者互助会ニュース

沖縄県勤労者互助会
電話：098-943-9750
FAX：098-943-9751
発行責任者 山城榮一



子ども達の笑顔のために 「ゆめ・みらい基金」に寄付金を贈呈しました!!

社会貢献

「ゆめ・みらい」基金の
共助・安定運営を支援!!

沖縄県勤労者互助会は、「子どもの貧困」や、その根本的な問題である「親の貧困」の解決改善に向けた自立支援に取組んでいます。「ろうきん 共済coop 働く仲間のゆめ・みらい基金」の安定運営を支援すべく、二月六日(金)に沖縄県労働金庫へ寄付金三十万円を贈呈しました。

「働く仲間のゆめ・みらい基金」は、仕事や子育てに励みながら困難を抱えて生活している家庭への支援として、「子どもたちの夢と未来を支えたい」「働く仲間を働く仲間の手で支えたい」といった働く仲間たちの思いが詰まった基金です。

沖縄県勤労者互助会は、労働者福祉事業等を通じた社会貢献活動の一環として、本基金の共助の輪を広げ安定運営を支援して行くために、毎年度「当会新規加入者一件につき五十円」を支援金として拠出することを総代会で決議したところです。

これからも沖縄県勤労者互助会は、労働者福祉事業団体と連携し、働く仲間とその大切な子どもたちの「ゆめ・みらい」を支える取り組みを支援してまいります。

会員の皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

《0150 ゆめ・みらい運動!》に 会員の皆さまのご参画をお願いします

マルイチゴウマル
<0150ゆめ・みらい運動>とは、「1人一口50円(月額)の寄付で沖縄の子ども達の夢と未来を支えよう」というもので本基金を通じ「子どもの貧困」とその根底にある「親の貧困」問題の改善・解決をめざす運動です。<ろうきん>の普通預金口座をお持ちの方なら「定額自動寄付」のお申込みをいただくことで、どなたでもご参画いただけます。子ども達の明るい未来を創造していくためには、働く仲間が一体となった、息の長い取り組みが必要です。当互助会も趣旨に賛同し支援の輪を広げて行きたいと思っております。

「ゆめ・みらい基金」贈呈式



(前列左) 当会の仲島代議員と岡野副会長、労金の東盛理事長、宇地泊専務、上原常務



裏面に「ゆめ・みらい基金」の支援を受け
た方からの声を掲載しています。

「ゆめ・みらい基金」に
ロッキー CLUB

《勤労者互助会情報》
当会の「ゆめ・みらい基金」贈呈は今回で五年連続実施。総額一四〇万円の寄付金となりました。▼昨年末取組の「商品券プレゼント」抽選会が行われ当選者二百名様が決定し当選者には一月末に商品券を発送しました。▼各支部との意見交換会を開催しています。意見交換会は当会に対する意見や要望等を出し合い事業運営に反映させること、また連合地協や支部、代議員との連携強化を図ることも意図した重要な会でありました。

～子どもは私たちの、ゆめ・みらい～ 働く仲間のゆめ・みらい基金

沖縄県労働者福祉基金協会(労福協)の基金運営事務局発行『基金レポート 2025』によりますと、2024年度支援基金実績は、239件、13,301,161円の給付(食糧支援等の各種支援含む)となっています。以下、支援を受けた方からの声です(一部掲載)。なお、文書は原文のまま記載しています。

修学旅行の参加をあきらめていた生徒への支援

この度は、ゆめ・みらい基金の審査を通し受理していただきありがとうございます。急な事にもかかわらず、市役所のパーソナルサポートセンターの担当様、ゆめ・みらい基金の担当の方々のおかげで、息子が無事修学旅行へ送り出すことが出来ました。本当は行きたいくせに、家の事情を知っているのに「俺行かないよ」と言いつづけていた息子。いつもがまんばかりさせているのに、修学旅行さえも行かせられない状況に親として情けなく、周りが旅行に向けて動き出す中でも先生に対しても友達に対しても「俺行かないから」とうしろ向きだった息子に申しわけなさでいっぱいでした。決定をうけ、一緒に買い物をし、準備をすませ空港送る車の中で「お金は気にしないで、全部使い切っておいで!!楽しんでください!!」と声をかけると「うん」と返事しました。学校からもすごく楽しそうだったよ!と教えてもらいました。ここに書ききれないくらい本当に感謝しています。本当に本当にありがとうございました。まだまだ厳しい状況はつづきますが、パーソナルの方の力も借りながら頑張ります

家庭の事情で、家族と離れて生活する生徒への支援

ゆめ未来基金の方々へ、まずは自分のタブレット購入のための資金をくださって本当にありがとうございます。自分の現状としましては、半年前程に母がストレスなどの抱えすぎで統合失調症になってしまいそこからとても自分にとって辛い日々が始まりました。最初は独り言をいっていたり、たまにおかしいことを言うくらいだったのですが、そこからどんどんエスカレートしていき、妄想、幻覚、幻聴はどんどんひどくなって3カ月程たつと誰もいないのにまるでそこに人がいるかのようにしゃべっていました。正直自分もその日常が続く中で毎日家に帰るのが怖くてとても嫌でした。そのような日々が続く中で母はコンビニであばれてしまいつかまりました。そしてそこから母は病院で弟は施設に行ってしまう、自分1人で生活する日々が始まってしまいました。そこから役場の人々が色々な人々の協力の元今も生活しています。当時はタブレットが学校で必要な物となっていて、ですがとても高くて買えないと困っていました。ですがそこでゆめ未来基金という方法があるとしりゆめ未来基金の方々のおかげで今回とても助かりました。生活に困っている自分のために支援していただき本当にありがとうございます。この恩をしっかりいただきこれからもがんばっていきます。

全国大会への遠征費の支援

今回、初めてゆめ・みらい基金の存在を知りました。給付の決定をして頂きありがとうございました。子どもの部活の遠征費で悩んでいましたが、無事に行かせる事が出来、おかげ様で本番では良い結果を残す事が出来ました。子どもの「夢」を諦めさせずに応援できました。本当にありがとうございました。

居の確保と身辺整理で生活安定化支援(家賃滞納払いの支援)

この度は、ゆめ・みらい基金の支給を決定して頂き本当にありがとうございました。離婚に向け、子ども3人私一人の給料で何とか頑張って生活していけるよう仕事も増やしましたが、疲れ、心の疲れが大きくなり、一人でなやんでいたところ、支援の事を初めて知りました。支援機関の方々にも大変親身になってもらえ、一人ではないんだ、と思う事ができました。こんな思いは、子供たちに気づかせてはいけない、感じさせてはいけないと必死でした。安定にはもう少し掛るかもしれませんが、今回で一番大きな遅れが解消され、心が軽くなりました。これから、どんどん子どもたちの笑顔をたやさず頑張っていきます。本当にありがとうございました。